



さくら便り

33号

令和4年8月

桜の会は7月1日境川のごみ拾いをしました。前回よりもゴミの量が少なくなっていました。少しは皆様の意識が向上したのでしょうか。桜の枯れ木が3本あります。11月頃を目途に伐採するつもりです。なぜ枯れるのでしょうか。隣の桜木は元気なのに。調べてみる必要があります。

(散歩の友) 今回は各務原市にあります徳山陣屋をご紹介します。境川を高田から上流(北)に向かって歩き、東海北陸自動車道の下をくぐり、岩地川との分岐をさらに上流へと行きます。右手に八幡神社がみえます。八幡神社の次の道を北に向かうと徳山陣屋公園に出ます。更木陣屋とも呼ばれ、江戸期の陣屋風景を再現した公園です。白壁の門・井戸・池などがあります。木々もたくさん植えられています。徳山氏はもともと徳山ダムのある地域を支配していた豪族です。南北朝期は南朝の新田義貞の麾下として活躍しています。貞信の子の代に土岐氏から養子を迎え、源氏を名乗る様になりました。信長の時代、徳山五兵衛則秀は柴田勝家に従い、大岩山砦の奇襲に先鋒として活躍しましたが、柴田勝家は秀吉に滅ぼされ高野山に蟄居。その後丹羽長秀、前田利家に仕え、慶長5年家康に召し出され、5000石の旗本(幕臣)となりました。領地は今の那加・蘇原です。その後、12代にわたって各務原の地を治めました。4代重俊は鉄砲頭・盗賊奉行を務め、池波正太郎の小説「堀部安兵衛」に登場しています。5代秀栄は鉄砲頭・火附盗賊改方を務め、盗賊日本左衛門一味の捕縛に功績をあげました。池波正太郎の小説「おとこの秘図」の主人公として描かれています。以外に身近なところに、いろいろ歴史があるんですね。境川の桜を愛でながら、歴史に触れる散歩もいいですね。

ホームページも見てください

パソコン <https://gifutakatamachi.sakura.ne.jp/wp/>



スマホ・タブレット

桜を愛する会